～授業者の思い～

　きまりや約束は、私たちの生活の中に多く存在しています。ときには、きまりや約束を煩わしく、窮屈なものに感じることもあるでしょう。しかし、世界からきまりや約束がなくなったら、どうなってしまうのでしょうか。今回の授業を通して、きまりや約束の必要性について考えさせたいと思います。

**３年１組・２組**

１　主題名　きまりは何のため（規則の尊重）

２　資料名　「きまりのない国」

３　ねらい　きまりや約束を守るのが苦手なけんたが、きまりのない国へ行って、考えを変化

させる姿を通して、きまりは何のためにあるかについて考えさせ、きまりの意義

を理解し、きまりを守って行動しようとする心情を育てる。

４　授業の流れ

① どんなきまりがあるか話し合う。

　②「きまりのない国」の範読を聞き、話し合う。

　　・どうして、けんたはきまりのない国に行きたいの

か考える。

　　・きまりのない国に行けたのに、どうして元の国に

戻りたいと思ったのか考える。

　　・きまりは、何のためにあるのか考える。

　③ 学習の振り返りをする。

　④ 教師の説話を聞く。

**年　組　　　　　　　　指導者：**

１　主題名

２　資料名　「」

３　ねらい

４　授業の流れ

1.
2.

～授業者の思い～